

防犯に有効と言われて話題になっているインターネットカメラをご紹介します。

1. インターネットカメラとは

コンビニや銀行ATMに設置されている監視カメラを見たことがあると思います。犯罪を防ぐ目的で設置されています。それらのカメラは映像信号が直接TV(モニタ)に送られています。カメラで撮った映像は1台のTVでしか見れないのです。それに対してインターネットカメラ(Webカメラ)は、インターネット接続で信号を送ります。つまりインターネットで接続されていれば何処からでも何人もが同時に映像を見ることが出来るのです。



2. 特徴

比較的安価です。3万円程度から購入することが出来ます。専用のTV(モニタ)が必要ありません。画像は、PCや携帯電話からでも確認出来ます。海外からでも確認できます。センサーと組み合わせて電子メールを送るように設定できます。ただし専用のカメラに比べて画質が落ちます。

3. 用途

今までのカメラは、防犯目的で設置されていました。確かにインターネットカメラも防犯に有効です。しかし、インターネット接続があれば、どこからでも画像を確認できることを利用すれば様々な使い方が生まれます。

① 防犯システム

まずは基本である防犯システムを安価に組むことができます。月払い費用は発生しません。ドアセンサーや赤外線センサーと組み合わせれば、侵入者の姿を記録して携帯電話にメールしてくれます。

② Webページ上でのライブ配信

インターネットカメラが撮影している動画をWebページ上で自動で公開することができます。

- 景色自慢レストランが景色を
- ペットショップから今日の一番を
- パン屋さんが出来たてパンを
- 人気レストランが駐車場の混み具合を
- 海が見える家から今日の波を



上下左右に動くカメラの場合、アクセスした人が操作出来るようにも設定可能です。積極的に情報を公開することにより、集客Upを狙います。

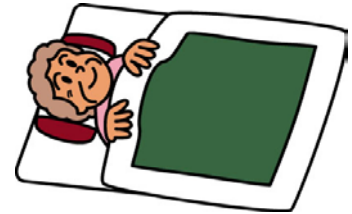
③ お店管理

経営者の方が複数のお店を持たれている場合、お客様の入りや店員の働きが気になるものです。インターネットカメラを使えば自宅に居ながらにして状況を掴むことが可能です。余裕のある店から混雑店に店員をまわす判断も楽に可能です。

④ お年寄りの見守り

体の不自由なお年よりを抱えているけど共稼ぎ。そんなご家族でも安心です。ペンダント型の緊急ボタンとカメラをつなげば、お年か

らの緊急コールも携帯電話メール



で受けることが出来ます。メールの送信先にヘルパーさんやご近所さんを追加しておけば安心して仕事に取り組みます。

⑤ 訪問者管理

建売住宅やマンションを販売している時など、別のお客様を案内して受付を不在にする時があります。訪問者が呼び鈴ボタンを押すと、カメラが記録し即座に携帯電話にメールします。メールは複数の担当者に転送されますのでお客様をお待たせすることが無くなります。

これまで挙げた用途が全てではありません。防犯監視という考えから、見守り、情報発信まで考えを広げればインターネットカメラには無限の可能性が広がります。

4. ホームネットワークとの組合せ

インターネットカメラにはインターネットが必要です。画像の確実な配信にはLAN有線接続が必要です。通常カメラは高い位置に設置されます。ホームネットワークで所定の位置に情報コンセントを配置すればケーブルが邪魔になりません。

インフォソケットは貴方のアイディアを形にします。